



やまぼうし

浜松市立白脇小学校
学校便り
令和7年2月7日

令和6年度 学校評価の結果を受けて

学校評価の結果と考察がまとまりましたのでお知らせします。今後もよりよい学校を目指して、取り組んでまいります。御理解と御協力をお願いします。

評価項目については、今年度の白脇小学校グランドデザインの項目の中から作成しました。本校での重点的な取り組みについての評価となります。

【評価項目（共通）】

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 学校は楽しい。 | 10「目を見て・笑顔で・明るい声で」あいさつができる。 |
| 2 自分のことを大切にしている。 | 11 自分や友達の安全に気を付けて生活している。 |
| 3 相手の気持ちを考えて行動している。 | 12 先生は、いろいろな話を聞いてくれる。 |
| 4 自分で決めたためあてにねばり強く取り組むことができる。 | 13 家の人に、学校のできごとを話している。 |
| 5 誰とでも協力して活動に取り組むことができる。 | 14 家の人に、将来や夢や希望について話をしている。 |
| 6 「あたたかい聴き方・やさしい話し方」ができる。 | 15 家の人に、頑張りたいことや頑張っていることについて話している。 |
| 7 学校には、困ったことや悲しいことを相談できる人がいる。 | 16 命は大切なものだと思っている。 |
| 8 働くことの大切さがわかり、係や当番活動、委員会活動に取り組むことができる。 | 17 道徳の授業を真剣に受けている。 |
| 9 「聴いて 考えて つなげる」学習を通して、学習した内容が分かる。 | 18 相手がいやだと思うこと（いじめ）はしてはいけないと思っている。 |

【考察】

今回の評価項目において、「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的な回答が児童は 90%前後、保護者は 80～90%前後の項目がほとんどでした。しかし、どの項目においても、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した児童がいることは見逃せません。一人一人の子供に寄り添い、対話を大切にしながら、その子に合った指導や支援をしていきたいと思えます。また、昨年度との比較において、児童の肯定的な回答率に大きな変化は見られませんでした。「勉強が分かる」という項目が増加し、他者とのコミュニケーションについての項目は若干減少していましたが、今後も多くの教育活動について、継続して取り組んでいきたいと考えています。

1の項目は、「そう思う」「だいたいそう思う」の児童の回答が高く、肯定的な回答が、昨年度より微増していました。多くの児童が楽しく学校生活を送っていることが伺えます。今後も学校生活全般で充実感が得られるように、支援していきたいと思えます。

2、3、4の項目は、自己理解や他者理解が、発達段階に応じて違いがあるため、回答にばらつきが出たと考えられます。各学年に応じた教育活動を効果的に実施していきたいと思えます。

5の項目は、三者（児童、保護者、教員）の評価が高く、家庭や地域に「誰とでも協力して活動する」という精神が根付いていると感じました。昨年度よりコミュニティ・スクールもスタートしました。学習や体験活動を通じ子供同士で、あるいは地域の方々をはじめいろいろな人と協働する機会を増やしていきたいと思えます。

6の項目は、授業だけでなく普段の生活においてもとても大切な態度です。各学級にステップアップ表が掲示してあります。今後もこれを生かしながら指導を重ね、授業中だけでなく、普段から誰の話に対してもきちんと耳を傾け、相手の気持ちを考えた話し方を子供たちに身に付けさせることができるように努めていきます。そのような積み重ねを行い、9の項目について教育活動の効果がより一層表れるように工夫をしていきたいと考えています。

7、12の項目に対して以下のような対応をしました。授業では、ペアやグループで話し合いなどを行い、さらに生活アンケートに基づき必要に応じて話を聞く機会を設けて参りました。保護者の皆様とは、家庭訪問、1、2学期末の三者面談(2学期末は希望制)を実施しました。それぞれの方法や期間について検討してだけでなく、日ごろから子供たちの様子を見取り、声掛け、支援をしていくことはもちろん、相談内容に対して、誠意を持って対応していきます。教育相談はいつでも行いますので、遠慮なくお声掛けください。

8、9の項目は、学校生活の中で中心になる項目です。学習活動や係活動(委員会活動)などを通して子供たちは成長していきます。これらの活動がより充実するように、1年生では言葉の指導を取り入れたり、職員のICT活用の研修を計画的に進めたりしています。今後も日々の教育活動の充実に努めていきます。

10の項目は、中学校でも力を入れて取り組んでいます。小学校では、挨拶の習慣の素地を整える段階にあります。家庭や地域でも、挨拶の輪が広がっていくことを目標に取り組んでいます。

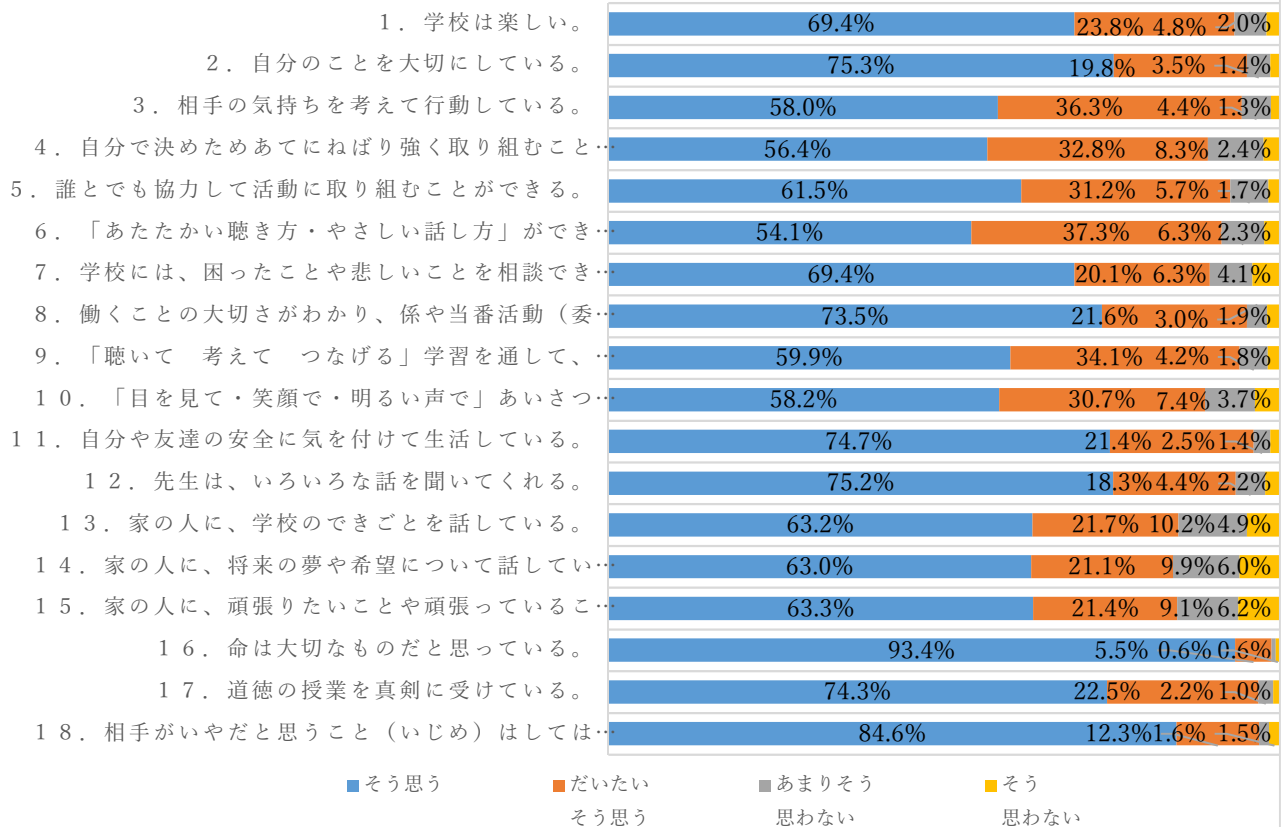
11の項目は、安全に気を付けて生活しているかを問いました。大規模校の本校では、教室や特別教室、運動場や体育館の利用にルールがあります。また廊下歩行についても注意をしなければいけない場面もあります。校外においても交通ルールや公共の場のマナーなどが守られているかなど、今後も子供たちが安全に気持ちよく過ごせるように指導を続けていきたいと思ひます。

13、14、15、16の項目については、児童の思いや出来事が大人と共有されているかなど、多面的に捉えるための質問です。質問1のように、シンプルな質問でもその回答への思いは、様々だと思ひますので、今後も家庭での会話を大切にしていだければと思ひます。特に14、15の項目については、浜松市が進めているキャリア教育とも関わり合い、将来の児童の成長に大切な内容と考えています。

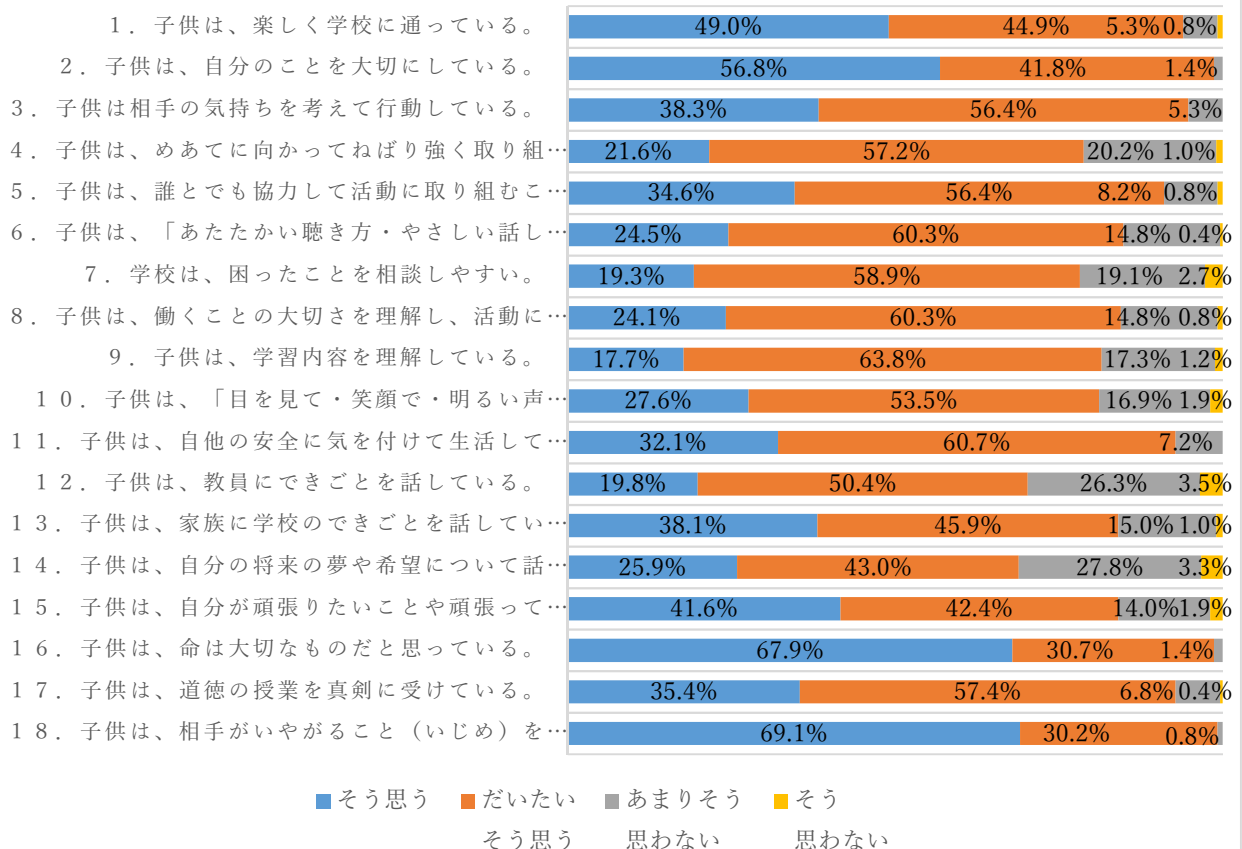
16、17、18の項目については、命の大切さや相手への思いやりなど、授業はもとより学校生活全般で子供たちの心の醸成を図っていききたいと思ひます。

保護者、地域の皆様におかれましては、日頃より教育活動への御理解・御協力をいただき、ありがとうございます。御家庭やでお子さんへの温かい声掛け・御支援をさせていただいているおかげで、子供たちは健やかに成長をしています。今後も、子供たち一人一人のよりよい成長のために、各御家庭や地域と学校で連携し、よりよい指導や支援をしていききたいと思ひます。よろしくお願ひします。

R6 児童アンケート



R6 保護者CSアンケート



R6 教員アンケート

